



澤田 裕之 議員
(倉生会現・大樹会)



上下水道事業について

Q 現在、一部の自治体ではマンホールの蓋に掲載する有料広告を募集しているところがあり、マンホールの蓋に広告を掲載することは、下水道のイメージ向上になり、下水道事業においても財政的に貢献するものと考えられる。マンホールの蓋に広告を掲載する考えはあるか伺いたい。

A 上下水道局長

下水道のマンホール蓋に広告を掲載することは、自主財源の確保や下水道事業のイメージアップだけでなく、民間企業とも連携した新たな地域づくりや魅力発信につながるツールになると考えています。今後、全国の先進事例などを参考に、佐野市における導入の可能性について調査研究していきたいと考えています。

その他の質問

☆幼児保育生活について



神宮次 秀樹 議員
(政友みらい)



市道道路改良事業に係る整備及び採択基準について

Q 新基準の運用を開始するに先立ち、目的や整備と採択の基準、それから採択までの手続の流れについて概要の説明があったが、基準を定めるに至った経緯、経過について伺いたい。

A 市長

佐野市には、これまで市道道路改良整備について優先順位を決定するような明確な基準がなかったことに加え、町会からの要望に対し、採択の有無について回答ができていなかった課題がありました。このような状況の中で、基準を設けることは佐野市としても非常に重要であると認識し、これまで研究課題として他市の事例などの調査を指示してきました。このたび整備基準の内容が固まったことから、令和5年度当初からの運用開始に向けて準備をしているところです。

その他の質問

☆シニア世代のスポーツへの取組について
☆佐野市水処理センターにおける消化ガス発電の現状と今後について



早川 貴光 議員



佐野市男女共同参画プランについて

Q 令和2年度・3年度の事業実績報告書のデータをみると、指標2の「男女の役割は固定せず、男女どちらが仕事をしても家庭にいてもよいと考えている市民の割合」については目標値を大幅に超えている状況で、指標1の「男女の地位が平等になっている」と考えている市民の割合は基準値の14.40%を下回っている状況である。指標1が下がっている原因を伺いたい。

A 市民生活部長

令和2年度から基準値に対し現状値が下がっている要因としては、コロナ禍による女性を取り巻く環境の悪化が大きく影響しているものと考えています。内閣府の令和3年度版男女共同参画白書によると、緊急事態宣言後のコロナ禍において、就業者数の減少幅は男性に比べ女性のほうが大きいことなどが挙げられています。

その他の質問

☆新型コロナウイルス感染症対策について

